

中学校 第2学年 題材名「健康・快適・安全で持続可能なよりよい住生活に向けて」
(8 時間扱い)

学習課題：誰もが安全・快適に住み続けるためにはどうしたらよいのだろうか

1 題材を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする事

2 資質・能力を育成する題材の授業設計

学習の過程		生活の課題発見		解決方法の検討、解決方法の計画、課題解決に向けた実践活動	
学習課題					
題材を通した学習課題： 誰もが安全・快適に住み続けるためにはどうしたらよいのだろうか。					
「見方・考え方」を踏まえた本時の目標	【第1時】住生活の問題発見・課題設定 目指す子供の姿 家族の生活や社会の現状を振り返り、住生活について問題を見いだして、課題を設定する。	【第2時】住居の機能 目指す子供の姿 住居の基本的な機能について理解する。	【第3時】住空間の使い方 目指す子供の姿 家族の生活と住空間との関わりについて理解する。	【第4時】家族の安全を考えた住空間の整え方 目指す子供の姿 自然災害に備え、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。	
	どのような視点で物事を捉え、 健康・快適・安全で持続可能な住生活に着目して	どのような視点で物事を捉え、 住居の基本的な機能に着目して	どのような視点で物事を捉え、 家族の生活と住空間の使い方に着目して	どのような視点で物事を捉え、 自然災害に着目して	
	どのような考え方で思考するか。 家族生活や社会状況の変化によって起こる住空間の整え方を考えることを通して	どのような考え方で思考するか。 様々な住まい方や生活行為の目的を考えることを通して	どのような考え方で思考するか。 家族の生活の変化に応じた住空間の使い方を考えることを通して	どのような考え方で思考するか。 様々な災害による危険や備え方と自分の生活経験等を関連付けて考えることを通して	
目標を達成した子供の姿と聞いた	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 自分や家族の生活を振り返り、住生活について問題を見だし、課題を設定している。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 住居の基本的な機能について理解している。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 家族の生活と住空間との関わりについて理解している。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 自然災害に備えるための住空間の整え方について理解している。	
	「誰もがよりよい住生活を送るにはどうしたらよいかな」	「空間をどのように整えたら、より機能的な住まいになるかな」「健康で快適に住みたい」	「自分の住まいについて家族と相談したい」「家族構成によって住空間の使い方が違うのかな」	「自然災害に備えるために、様々な視点から準備しておいた方がよいのかな」	
「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく学習活動	◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 課題意識をもつ 家族の生活や社会の現状を振り返り、自分の住生活で起こる心配なことや困ることを考え、よりよい住生活にするための課題を設定する。	◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 興味・関心をもつ 様々な住まい方の動画から、生活行為の目的を考えることで、住まいの働きについて興味関心を持つ。	◆【深い学びの視点】 ⇒ 情報を精査して考えを形成する ◆【対話的な学びの視点】 ⇒ 互いの考えの良さに気付く 模擬家族を使って家族に合わせた住空間を提案し合う。	◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 新たな気付きを生み出す 自然災害における家庭内の危険と備え方について、地域の防災教材等を活用して調べ、様々な災害の危険や備えと自分の経験を関連付けて、自然災害に備えるための方法を考える。	

中学校 第2学年

題材名「健康・快適・安全で持続可能なよりよい住生活の実現に向けて」

学習課題：誰もが安全・快適に住み続けるためにはどうしたらよいのだろうか

(8 時間扱い)

1 題材を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする

2 資質・能力を育成する題材の授業設計

学習の場		実践活動の評価・改善	
解決方法の検討、解決方法の計画、課題解決に向けた実践活動			
題材を通した学習課題：誰もが安全・快適に住み続けるためにはどうしたらよいのだろうか。			
「見方・考え方」を踏まえた本時の目標	【第5時】家族の安全を考えた住空間の整え方 目指す子供の姿 家庭内の事故を防ぎ方やなど家族の安全を考えた住空間の整え方を理解する。	【第6時】家族の安全を考えた住空間の整え方 目指す子供の姿 健康・快適・安全での持続可能な社会の構築を考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。	【第7時】よりよい住生活に向けて 目指す子供の姿 健康・快適・安全で持続可能な社会の構築を考えた住空間の整え方について考え、発表することができる。
	どのような視点で物事を捉え、 家庭内の事故 に着目して どのような考え方で思考するか。 幼児や高齢者で構成する家族が住まいの中で想定される危険と要因を分類すること を通して	どのような視点で物事を捉え、 様々な要因で起こる住空間の危険な状態や状況とその対策 に着目して どのような考え方で思考するか。 様々な要因で起こる対策を考え、住空間を整えること を通して	どのような視点で物事を捉え、 よりよい住生活にするために実践すること に着目して どのような考え方で思考するか。 これまでの学習を振り返りよりよい住生活にするために実践することをまとめること を通して
目標の達成と問	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 幼児や高齢者など、家族が安心して住もうためには、住空間を安全な状態に整える必要があることを理解している。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 健康・快適・安全での持続可能な社会の構築を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 健康・快適・安全で持続可能な社会の構築を考えた住空間の整え方について考え、発表している。
	「幼児や高齢者にとっても、事故を防ぐためには、どんな方法があるのかな」	「家族に応じて事故を防ぐ整え方を変えた方がよいのかな」	「日頃から、危険を予測して準備したり、整えたりしておくことが、大切だ」
「主体的・対話的で深い学び」の視点を持つ学習活動	◆【対話的な学びの視点】 ⇒ よりよい考えを見いだす。 家庭内において、幼児や高齢者で構成する家族が危険となる箇所を、鳥瞰図から見付け出し要因ごとに分類して、どのような対策が必要であるかを推測する。	◆【深い学びの視点】 ⇒ 知識を相互に関連付けて考える。 住まいの中の危険とその対策について、情報交換し、家族の安全を考えた住空間の整え方をまとめる。	◆【対話的な学びの視点】 ⇒ 考えを吟味・検討する。 よりよい住生活を実現するために、これまでの学習を振り返り、家族が安全に住むための住空間の整え方を見いだす。
			◆【深い学びの視点】 ⇒ 生活や社会につなげて考える。 よりよい住生活を実現するために、安全の視点を踏まえた住空間の整え方を考え、家族が安全に住むための「安全計画」を作成し、家庭・地域での実践につなげる。